



岡山産業保健総合支援センター

《おかやまさんぽメールマガジン》 第84号 2015年2月2日（月）



## I N D E X

### 1 相談員便り

『これからの化学物質管理について』 西出忠司相談員

### 2 センターからのお知らせ（相談・研修・行事案内）

\*平成26年度産業保健研修会【平成27年3月12日（木）13:30～16:40】

\*平成26年度研修会のご案内

\*新規図書のご案内

### 3 編集後記

---

### 1 相談員便り

---

『これからの化学物質管理について』 西出忠司相談員

数年前にも一度書きましたが、化学物質管理がいよいよ緊急の課題となってきました。昨年の6月25日公布の安衛法改正で、現在SDSの交付が義務づけられている640の化学物質についてリスクアセスメントを実施しなければならなくなりました。これまで努力義務であったものが義務化されたわけです。（つまり、やらなければ法違反となる）

化学物質は非常に有用なものであり、現在の生活になくてはならないものですが、すべてのものが危険・有害性（ハザードという）を持ち、場合によっては、人に危害を及ぼす危険性（リスク）も持っています。このため世間では、「化学物質＝危険・有害＝悪いもの」という概念が横行しているきらいがあります（世の中の物はすべて化学物質なのです）

が)。これはハザード（危険・有害性）＝リスク（危険）の誤解であり、ハザードに会わないようにすれば、リスクはありません。（インフルエンザウイルスを取り込まなければインフルエンザには罹りません。「さわらぬ神にたたりなし」です。）

#### 化学物質の有害性のリスク

＝化学物質のハザード（毒性）×ばく露量（体への摂取量）

といわれています。化学物質のハザードは、その物質固有のもので、これを変えることは普通出来ません。また、ハザード＝0はありません。化学物質はすべて有害です。ハザードの大きいものでも、ばく露量が小さければ、リスクは小さくなります。逆にハザードが小さくても、摂取量が大きいとリスクは大きくなります。例えばフグという、猛毒のイメージがありますが、毒の多い卵巣等を除去して食せば（ばく露量を少なくすれば）、美味を堪能出来ます。ハザードの少ない水でも大量に飲めば死亡することもあります。化学物質の場合、ほとんどの物に量－反応（率）という関係があり、ハザードの大きいものでも、少量の摂取なら、悪影響を受ける人はゼロに近くなります（場合によっては、ごく少量の摂取量ならば、身体に有用となることもあります。薬など）。皆さん方が現場で化学物質を使用すれば、ハザード＝0には出来ません（先述したようにハザード＝0の化学物質は無いからです）。また、使用する以上、ばく露を0には出来ません（リスク＝0には出来ません）。従って、リスクを少なくするには、ハザードの少ない物を使うか、摂取量を少なくするほかありません。リスクアセスメントは、まず使用している物質の有害性を知り（どんな有害性があるかを知ることがスタートであり、最も大切なことです。）、現時点で、どの程度のばく露があり、リスクはどの程度なのか、リスクが大きければ、リスクを減らす改善策をとらねばなりません。リスクの判定には、SDSでハザードを調べ、ばく露量（個人ばく露濃度）を測定するのが普通のやり方ですが、ばく露量の測定は簡単ではありませんので、簡易な定性的なやり方（コントロールバンディング法）があります。ネットの「職場の安全サイト」→「リスクアセスメント実施支援」→「リスクアセスメントを開始」で簡単に出来ます。精度は高くありませんし、やや厳しい評価が出ることが多いようですが、気軽に挑戦してみてください。

リスクアセスメントが義務化されたのを機会に、これまであまり気にせ

ず使ってきた化学物質のハザードを知り、使用時のリスクを見直してみてください。

---

## 2 センターからのお知らせ（研修）

---

### ■平成 26 年度産業保健研修会のご案内■

日 時：平成 27 年 3 月 12 日（木）13：30～16：40

場 所：津山圏域雇用労働センター 大ホール 北側  
（岡山県津山市山下 92-1）

対 象：産業医、産業看護職、衛生管理者、人事労務担当者

単 位：認定産業医生涯研修（更新 1 単位、実地 1.5 単位）

内 容：

- メンタルヘルス対応 グループワークによる難渋事例の検討
- 労働安全衛生法等の改正について

講 師：

岡山産業保健総合支援センター相談員 高尾総司

岡山労働局労働基準部健康安全課長 高祖明己

定 員：50 名

備 考：受講料は無料です。

-----  
・・・こちらの研修会のお申込はこちら

<http://www.okayama-sanpo.jp/form-01/form-01.html>

---

### ■ 産業保健研修会（会場：岡山労災病院）のご案内 ■

実際に産業保健現場で実務を行う機会のある方を支援するための事例検討を中心とした『アドバンストコース』として実施します。職種は問

いません。産業医の生涯研修単位を取得できます。

初めて受講される方には総論内容をまとめた DVD の視聴を推奨します。

(DVD 入手は、<http://www.unit-gp.jp/eisei/wp/?p=1809> )

※DVD 入手の際に必要な『キーワード』は、研修会申込時にお知らせ  
します。

受講料：3,000 円

(資料代として NPO 法人が管理します。受付時にお支払い下さい。)

定員：20 名

◆平成 27 年 2 月 12 日 (木) 19:00~21:00

演題：メンタルヘルス対応 安全配慮義務にかかる大いなる誤解  
グループワークによる事例検討

講師：高尾総司 (岡山大学大学院 疫学・衛生学分野 講師)

岸本卓巳 (岡山労災病院 副院長)

場所：岡山労災病院内 看護専門学校 1 階会議室

単位：生涯専門 1 単位、生涯実地 1 単位

◆平成 27 年 3 月 19 日 (木) 19:00~21:00

演題：メンタルヘルス対応 やってはいけないこと  
グループワークによる事例検討

講師：

高尾総司 (岡山大学大学院 疫学・衛生学分野 講師)

岸本卓巳 (岡山労災病院 副院長)

岩瀬敏秀 (岡山大学大学院 地域医療支援センター 助教)

場所：岡山労災病院別館 3 階会議室

単位：生涯専門 1 単位、生涯実地 1 単位

-----

・・・産業保健研修会の詳細は、こちらでご確認ください。

<http://www.okayama-sanpo.jp/01-ke.html>

---

■産業保健研修会 (会場：岡山医療センター) のご案内■

◆平成 27 年 2 月 24 日 (火) 19:00~21:00

演 題：ルール・業務遂行レベルにもとづくメンタル対応（応用編）  
講 師：高尾総司（岡山大学大学院 疫学・衛生学分野 講師）  
場 所：国立病院機構岡山医療センター（岡山市北区田益 1711-1）  
西棟 8 階会議室

単 位：生涯専門 2 単位（産業医の方は取得できます。）  
対 象：産業保健に関心のある方（職種を問わない）

受講料：2,000 円

.....  
・・・産業保健研修会の詳細は、こちらでご確認ください。

<http://www.okayama-sanpo.jp/01-ke.html>

---

■ 岡山産業保健総合支援センター主催セミナー・研修会 ■

⇒⇒⇒ 会場が「ピュアリティまきび」の研修会

場 所：ピュアリティまきび 会議室（岡山市北区下石井 2-6-41）  
受 講 料：無料

※ お車でお越しの際は、ピュアリティまきびの駐車場をご利用ください。  
駐車場は無料をご利用いただけます。駐車券は、お帰りの際にフロ  
ントまでお持ちください。但し、駐車場が満車の場合はご利用いた  
けません。ご注意ください。

研修会・セミナーの情報・お申込はこちらからどうぞ  
<http://www.okayama-sanpo.jp/01-ke.html>

日 時：2/17（火）14：00～16：00

研修テーマ：防ごう骨粗鬆症！

内 容：骨粗鬆症予防のための日常生活の注意について

講 師：福岡相談員

日 時：2/25（水）14：00～16：00

研修テーマ：ストレス対処法について

内 容：講義及びロールプレー

講師：大月相談員

---

⇒⇒⇒ 会場が「岡山大学鹿田キャンパス」の研修会

※下記研修会の会場は「岡山大学鹿田キャンパス」  
医学部基礎研究棟 1階小セミナー室（岡山市北区鹿田町 2丁目 5番 1号）

※受講料無料。駐車場がありませんので、公共交通機関でお越しください。

※シリーズとなっていますが、各研修会単独で受講できます。

※産業保健研修会（岡山労災病院）の講師を務める高尾総司先生の研修会です。「職場は働く場所」の大原則を前提に、メンタルヘルス対策等を考えます。

日時：2/16（月） 14：00～15：30

研修テーマ：健康診断事後措置シリーズ 1

内容：各論 1 安全配慮義務の履行

日時：3/9（月） 14：00～15：30

研修テーマ：健康診断事後措置シリーズ 2

内容：各論 2 福利厚生としての実施

-----  
産業医研修会・セミナーのお申込はこちらからどうぞ

<http://www.okayama-sanpo.jp/01-ke.html>

▼研修会の受付は各研修会会場で行います。直接、お越し下さい。

▼今後、研修会開催場所に関しては変更になる可能性があります。変更になった場合は、速やかに御連絡いたします。

▼お問合せは、下記アドレス宛にお送りください。

E-mail：info@okayama-sanpo.jp

---

#### ■新規図書のご案内■

07-187 メンタルヘルス対策 はじめの一步

《内容》

1. メンタルヘルスとは（ストレスとは？、職業性ストレスモデル）

2. 元気に働くために（コミュニケーションの基本、ストレスへの対処）
3. メンタル不調への対処（経営者・上司が行う対応、職場での対応）
4. リスクを回避するために（休業者1人にかかるコスト試算、使用者の損害賠償責任、「法の不知はこれを許さず」、最近の裁判例）

\*内容を分りやすく解説するDVDが付いています。

- ▼図書の貸出は無料です。
- ▼郵送（送料は利用者負担）による貸出もできます。
- ▼研修会の際に貸出、返却も対応しております。

図書の貸出のお申込はこちらから

<http://www.okayama-sanpo.jp/form-kasidasi/form-kasidasi.html>

---

### 3 編集後記

---

平成27年1月から3月まで、「やっていますか？安全点検！トップの決意と現場の実行」というスローガンをもとに労働災害防止強化期間に設定されています。経営トップ自らリーダーシップを発揮し、事業者と労働者が一体となって、労働者が日常行っている作業と使用している設備について、現場で確実に安全点検を行い、労働死亡災害の撲滅及び労働災害の防止に努めましょう。

-----

次回の第85号は3月2日（月）の配信予定です。